



中部電力パワーグリッド

## 受変電設備に関する技術サポート

対象設備：電力ケーブル用管路

# 安価な推進工法（HDD工法）で電力管を埋設

背景・目的

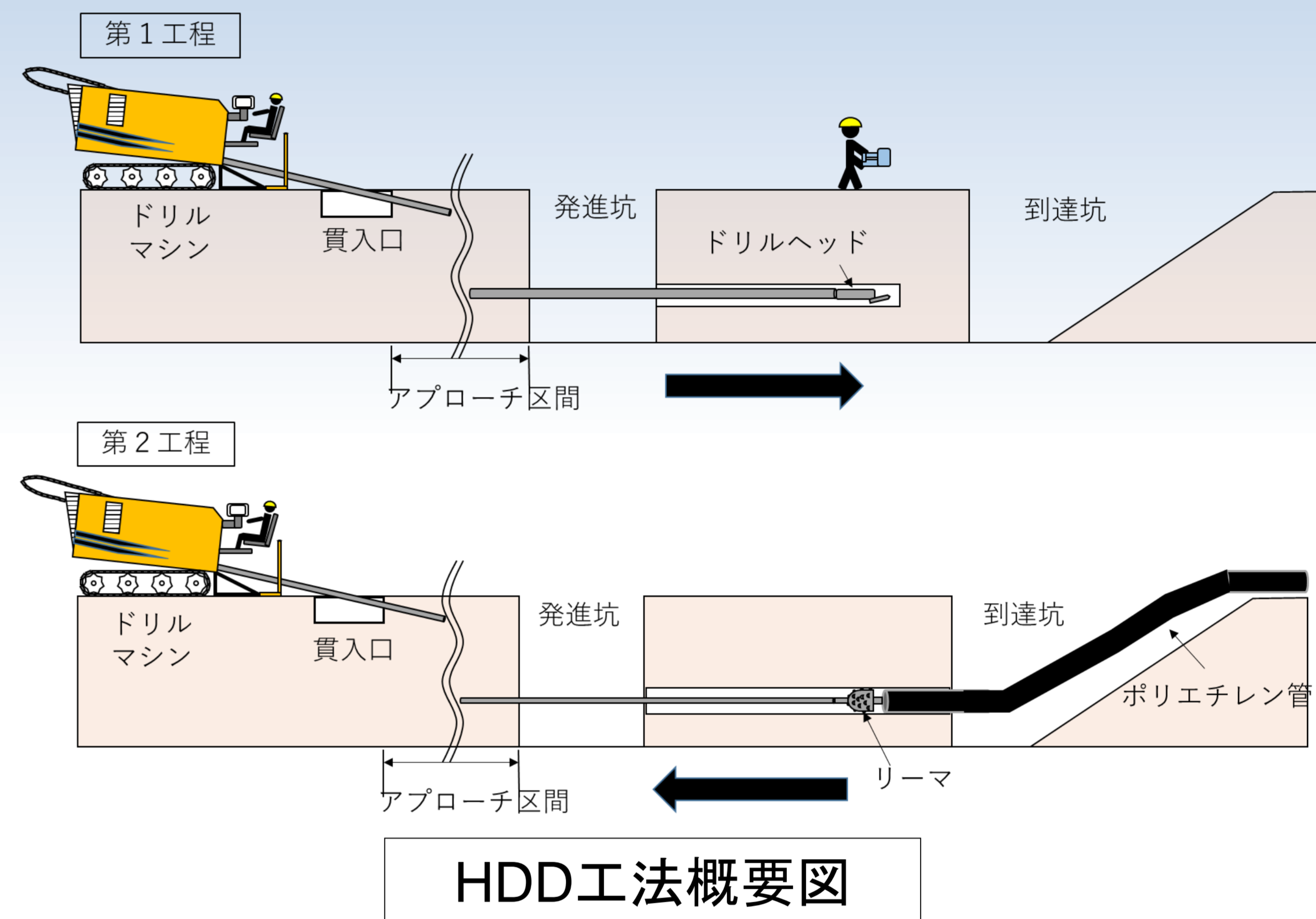
### 一般的な推進工法

推進機を立坑内部に設置するため、立坑規模が大きくなり工事用地が広く必要かつ工事費が高額となる。

### HDD工法

HDD工法(誘導式水平ドリル工法)は、推進機を地上部に設置するため、立坑規模を大幅に小さくできる。

立坑を設置するためのスペースが無いような場所においても、推進工法の適用が可能。



特長

- HDD工法は立坑規模が小さく、従来推進工法が適用できない場所において適用可能性があるので、管路ルート選定における選択肢が増加。
- 掘削工事を最小限にできるので、工期を短くでき、また工事費が安価。

提案内容

受変電設備構内や自営送電線路の管路工事に関するお困りごとに対して、HDD工法の活用を含めたご提案を致します。

### お困りごと事例

#### 工事費用を抑えたい

HDD工法を活用し、安価で最適な管路ルートを選定致します。

#### 管路設計の経験が無い

管路の線形・埋設深さ・亘長によっては、ケーブルが布設できなかつたり、ケーブルの送電容量が小さくなります。当社の経験を活かし最適な管路設計を行います。



HDD工法による施工状況

展示者のひとこと

当社では、膨大な管路およびケーブル設備を設計・施工・保守を実施してきた実績から、施工および保守を考慮した管路設計を行います。HDD工法の適用に関わらず、管路の設計に関してお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：(Tel) 052-740-6975

(E-mail) Souhenden.Gijyutsu-support@chuden.co.jp